

THE REPORT

国内レポート 第18回若い歯科医師のための
オーラルフィジシャン育成セミナー

次世代を担う Dr・DH に向けて 12名の講師より熱いメッセージ



井上陽裕

山形県勤務 日吉歯科診療所
連絡先：〒998-0037 山形県酒田市日吉町2-1-16

8月24日(土)、25日(日)の2日間にわたり、日吉歯科診療所(山形県酒田市)にて標記セミナーが開催された。

本セミナーは熊谷崇先生が主宰して行われており、今期で18回目を数える。全国から学生(歯科医師・歯科衛生士)・卒後5年未満の勤務医・大学関係者を対象とした参加者54名が集い、熊谷崇先生をはじめ、日吉歯科診療所の勤務医、オーラルフィジシャン育成セミナー修了者ら計12名の講師より熱いメッセージが語られ、満員の研修会場は終始熱気に満

ち溢れた状態だった。

今回のプログラムは、以下4つのパートから構成された。

- ①熊谷崇「先進国歯科医療の常識と日本の歯科医療の問題」
 - ②加藤大明、渡邊征男、仲川隆之、幡野紘樹、海野陽子「歯科医療における常識的な診療の流れ、EBDとは?(若手歯科医師の取り組み)」
 - ③太田貴志、小口道生、柴田貞彦「診療室の成長と発展」
 - ④熊谷直大、築山鉄平「オーラルフィジシャンと専門医の連携と役割」
- この2日間が参加者にとって、こ

れまで思い描いていた歯科に対するイメージをよい意味で大きく転換する機会となれば本望である。

下記に3名の参加者の感想を掲載したが、それ以外の参加者の感想もSAT事務局のホームページ(<http://www.sat-iso.net>)に掲載されているので、併せてご覧いただければ幸いである。なお、21期は2015年3月14日(土)・15日(日)、22期は同年8月29日(土)・30日(日)がすでに募集を開始している。詳細については日吉歯科診療所のホームページを参照いただきたい。

Reporter's voice 1

オーラルフィジシャンを自分の歯科医師像の目標に



青 藍一郎

(東京都勤務・医療法人社団恒心会 グリーン歯科)

「わが国において歯科医師になることは難しいことではなくなり、優秀な人材が歯科医師を志望しなくなっている」という熊谷崇先生の言葉に、強い衝撃を受けるとともに、その言葉の通りであると強く感じた。事実、この話題はマスコミでも取り上げられ、国民の多くが知るところとなっている。そのため、国民から歯科医師は無条件に尊敬を受けることがなくなり、場合によっては患者や社会が歯科医師を信用してはならない、といった先入観までもってしまっているのではないかと危惧さえ感じる。では、危機的な状況に陥りつつある歯科医師の未来は、暗く、辛いものでしかないのだろうか。本セミナーにて、オーラルフィジシャン(以下、OP)として活躍している、自分と同世代の若手歯科医師による発表を聞き、信念があれば、自分の納得できる開業形態でも医院の継続は可能なのだと知った。正しいことを学び、正しいことを継続していく努力をすれば、真に患者のための仕事ができると感じた。私は暗く辛い歯科医師人生を送りたくはない。今後も研鑽を継続し、オーラルフィジシャンを自分の歯科医師像の目標として、有意義な歯科医師人生を構築していきたいと強く思った。

Reporter's voice 2

セミナーで芽生えた歯科医療者という自覚と責任感



小幡純子

(九州大学大学院歯学府)

2013年8月、生まれも育ちも九州の私にとって、初めての東北、山形県酒田市の夏の風はとても爽やかで心地よいものだった。そこで受けた熊谷崇先生の講義で、「人生は選択」という言葉が印象に残った。歯学部に入學し歯科医師になったことや大学院に進學したことなど、これまでの数々の選択が頭に浮かんだ。そして、2日間のセミナーを受講し、自分なりの解釈ではあるが、これらの選択に対する答えをもらえたように思う。日吉歯科診療所にて実践されている「歯科医療」の現場を目にしたり、講師の方々の話を聞いたりしたことで、自分は「歯科医療者」なのだという自覚と責任感が芽生えてきた。歯科医療者の使命は、患者の口腔内の問題を治療により解決することではなく、健康な口腔を育て、守ることなのだという考え方に私はとても共感し、そこに私は歯科医師としてのやりがいを感じたいと思った。私は今、さまざまな機会を与えていただいている大学院生という立場にある。今回セミナーを受講したことで、自分たちの研究がこれからの Evidence Based Dentistry の礎のひとつになるのだという気持ちや、出会った患者などへの「健康な口腔であってほしい」という思いが強くなった。この夏、日吉歯科診療所を訪れた選択は、私の歯科医師人生における意義ある時間を与えてくれたと感じている。



山形県酒田市にある山居倉庫を訪れた際のひとコマ。

Reporter's voice 3

歯科医師としての「軸」を再確認



今井崎理沙

(神奈川県勤務)

今回のセミナーは、研修医時代に学んだことが自分の「軸」になっていることを再確認する場となった。日吉歯科診療所で取り入れている MTM は患者 1 人ひとりに対し、しっかりとした資料採得と各種リスク検査を行い、それに基づいた指導および治療、メンテナンスを実施していくものだが、従来の歯科医療ではさまざまな理由から軽視されてきた部分だと思われる。セミナーでは、日本の歯科医療が先進諸国のなかでもかなり取り残されてしまっている点、大学の教育や保険医療制度など問題が山積みで、世界に目を向けていかなければならないと声を大にして話されていたが、国内にもしっかりとした教育を実施している研修施設があることを知ってほしいと思った。私は昭和大学歯科病院総合診療歯科にて研修し、MTM とそう変わらない早期発見・早期指導に重点を置いた診療システムを習得した。このシステムは POS (Problem Oriented System) をベースに、疾患そのものではなく患者が患っていると感じている点、さらには単なる対症療法的治療ではなく原因の除去を一番に考えた治療を予防も含め実行していくものである。これこそがオーラルフィジシャンであり、私の「軸」になっていたものだと気づかされる有意義なセミナーであった。



セミナーの様様。